

山口県医師会報

発行所 山口県医師会
〒 753-0811 山口市大字吉敷 3325-1
083-922-2510
編集発行人 藤井康宏
印刷所 大村印刷株式会社
定価 220 円 (会員は会費に含め徴収)

平成 16 年 4 月 21 日号

1709



往診先の庭で

兼定 啓子 撮

新役員プロフィール -1-	268
平成 15 年度都市医師会生涯教育担当理事協議会	272

県医師会の動き	274
日医 FAX ニュース	276
会員の動き	277
お知らせ・ご案内	279
受贈図書・資料等一覧	284
編集後記	284

ホームページ <http://www.yamaguchi.med.or.jp>
メールアドレス info@yamaguchi.med.or.jp

新役員プロフィール -1-

- 新しく役員になられた先生方を 2 回に分けてご紹介いたします -



ひろやま なおしげ
弘山 直滋 理事

地域医療（救急災害医療）介護保険、地域福祉、
広報・医療情報システム
下関市医師会
内科
49 歳

弘山直滋先生をご紹介いたします。弘山先生は昭和 30 年 1 月 1 日、大分県宇佐市のお生まれです。

昭和 48 年大分県立中津南高校を卒業され、同年山口大学医学部に入学。学生時代は卓球部に所属し、主将を経験し、6 年時に全医体で団体戦優勝を経験し、現在も下関市医師会卓球部員として活躍しております。大学卒業後は山口大学大学院入学と第 2 内科に入局。循環器内科の楠川教授のもとで臨床研修を行うとともに、オーベンの松崎先生（現山口大学教授）のもとで、経食道エコー法を酷使した研究をされ、国内はもとより、アメリカ、ヨーロッパで多くの発表を経験されております。

昭和 58 年、学位取得され山口大学医学部附属病院第 2 内科勤務。昭和 59 年より下関市医師会病院に副院長として勤務。医師会病院では糖尿病の入院患者が多く、糖尿病教育入院システムを構築しております。会員医療機関に通院中の患者友の会「糖友会下関」を医師会内に立ち上げ、現在年間 6 回の研修会の世話をしております。

また、糖尿病診療に携わっている医師及びその

医療機関に属するコメディカルのレベルの均等化をめざした研究会「下関 DM の会」の代表世話人を務め年 2 回開催しております。平成 6 年より医師会理事に就任され、病院、成人保健対策、感染症対策等を担当されております。平成 9 年医師会近くの山の田地区で「ひろやま内科」を開業されました。開業後も医師会理事を続けられ、平成 12 年より、総務、会員福祉担当となり、下関医師協同組合理事にも就任されました。

これまでビール一杯しか飲めなかったアルコールも宴会担当理事として努力され、時々眠りながらも最後まで付き合えるまでに飲めるようになり、最近では一人で飲み歩くまでになり、唐戸地区の夜の帝王となっております。卓球部活動は毎年、全日本、九州山口、中四国の医師卓球大会に参加、他に野球部員、ゴルフ部員として活躍されております。医政連活動では若手医政担当（実働体）として活躍中です。

平成 16 年 4 月より県医師会理事に就任とともに下関市医師会副会長、下関医師協同組合専務理事をも兼任されます。下関市医師会のホープです。

[記：下関市医師会 中島 洋]



おだ えつろう
小田 悦郎 理事

医事紛争、庶務・会計・諸規定、産業保健
宇部市医師会
外科
56 歳

まず小田悦郎先生の生い立ちから紹介しますと、出生地は田布施町です。

ご尊父の勤務の都合で、小学校入学前より山口市に住まれ、名門山口高校を優秀な成績で卒業、山口大学医学部入学、48 年に卒業され、第一外科教室（八牧力雄教授）に入局されています。学生時代は硬式テニス部に入り活躍されました。医局入局後、外科学の研鑽を積み、県内の主な関連病院に勤務後、55 年山口大学医学部助手になり、56 年から宇部記念病院の院長に就任しています。現在、第一外科同門会（羊翔会）の理事をされています。

平成 8 年より宇部市医師会理事を務められ、主として救急医療、休日診療所運営及び産業医関係を担当し、立派にその業績を上げられています。

この医療環境の厳しいなか若くして宇部記念病院の院長に就任し、立派に病院運営をなされています。先生を一口で言うと、人の輪を大事にされ、スタッフから信頼され、医師としては当然ですが、

患者さんからは優しい親切な院長先生と慕われ、尊敬されています。日頃より常に前向きの行動力と実行力を備えた先生といえます。

他方、多忙のなか平成 16 年 7 月からは宇部新川ライオンズクラブの会長に決まり、現在第一副会長として社会奉仕にも一役かっており、リーダーとしての統率力も持ち合わせています。

趣味ではゴルフと聞いていますが、そのショットは性格通り正確で、その場の状況判断は抜群であります。

これからの抱負を聞いたところ、65 歳までは全力投球で頑張るそうです。

宇部市医師会からは、久々のエースを県医師会理事に送り出しますので山口県医師会会員の先生方には、小田悦郎先生がその力量を十分に発揮し、いい仕事ができるように、温かいご支援とご指導をよろしくお願いいたします。最後に小田先生が県医師会の新しい風となるように期待しています。

[記：宇部市医師会 小倉 浩二]



すぎやま ともゆき
杉山 知行 理事

妊産婦・乳幼児保健、学校保健、医事紛争、
診療情報・医療安全、介護保険
防府医師会
内科
57 歳

常日頃、実の兄のように敬愛する杉山知行先生がこの度県医師会の理事に就任される。10 年後輩（大学ではなく高校だよ）から見れば大変喜ばしい限りである。

先生は昭和 22 年 2 月、防府市は大道の産。防府高校へも汽車で通学され、その当時は通称“大

道の神童”。現在の大変おらかな“村夫子”然とした雰囲気や風貌も、その原風景は緑の豊かな大道の田園地帯にあるのだろう。昭和 46 年の京都大学医学部のご卒業である。

卒後は、消化器内科医としてスタートを切られ、京大大学院にて学位を取得。昭和 55 年、学位研

究の指導教官の高知医大内科教授就任にともなうて、京大第二内科から高知医大第一内科に籍を移された。また、昭和 58 年から 2 年間に亘りカナダのトロント大学に、細胞接着因子等の基礎的研究のため留学をされた由。私とスキーに行く時常用される、おそろしく板の長いスキーはその際の J.Sodek 教授の贈り物らしく、結構こだわりがあるようで、新しいカービングスキーにはなかなか変わらない。

防府で一足早くご実家の医院を継承されていた奥様の和子先生(旧姓桑原、山大 47 年卒)の元に平成 3 年から帰郷され、平成 8 年、杉山内科小児科医院として新たな場所で診療をされている。

平成 6 年からは防府医師会理事として医師会報を担当された。先生の編集後記は政治・経済から社会ネタまで大変幅が広く、その知識の深さにわれわれ凡人は畏敬するのみである。また、平成 11 年の春、介護保険発足前のモデル事業から担当理事として参画され、以後、防府市の介護認定審査会の会長として現在も深く介護保険に関与さ

れている。

先生にはギョッとする威圧感はまったくないし、何の物事に対しても先入観を持たれない。特に、人間関係においてはそうである。じっくり人の話を聞いたりご自身で勉強されたりして、ご自分で判断される。医師会の内外で年齢を問わず、さまざまな人と付き合いがあるのもそのせいであろう。

謡いも麻雀もされるが、何よりも自信があるのは囲碁で現在四段の腕前。五段も遠くないと自負されているが、県医師会理事就任により意外と忙しそうなので、昇段が遅れるかもしれないと心配されている。カナダ仕込みの猛スピードのスキーマ、一期目が終わる頃には私も追いつくことができるかもしれない。

都会的なスマートさには欠けるが、意外と大きく可愛い目の奥には、慈愛と好奇心がキラキラしている。そんな先生が今後は県医師会の理事として、その高い識見で大活躍されるものと確信している。

[記：防府医師会 清水 暢]



わくた ゆきお
湧田 幸雄 理事

勤務医、成人・高齢者保健(スポーツ医学)、生涯教育、医療保険
山口市医師会
脳神経外科
58 歳

山口市医師会赤川先生より湧田先生の紹介記事のご依頼を受け、資料提供をお願いしたところ、早速、生い立ち、履歴書、業績目録、家族構成等々 12 枚もの資料を私の自宅まで届けに来られました。これだけでも彼の人となり推察いただけることと思いますが、役目柄、ご本人の記述をなるべく忠実に再現しながら私の独断と偏見を織り交ぜて紹介させていただきます。

彼は昭和 20 年 8 月、疎開先の大分県で出生。ご尊父が戦前から国宝建造物修理に携わっておられたため、戦後は神社仏閣の保存修理監督として全国を移り住まざるを得なかったようです。高校は開学 300 年を誇る岡山県の名門、開谷高校を

卒業し、山口大学に入学。山口での下宿は今のレストラン・シーモールの近くにあり、私は東滝水の上に下宿していた関係で何度かお邪魔したことがあります。当時流行のミニコンボがあったことを記憶しています。硬式テニスとマンドリンクラブに所属し、木製のラケットケースに入れたラケットを自転車の横に取り付けてキャンパスを疾走する姿が目には浮かびます。昔取った杵柄で、現在、妻君(同級生の元麻酔科医)とともに県医師会テニス大会で活躍しているのは、ご存知の通りです。昭和 46 年卒業後は、当時のテレビドラマ、ベン・ケーシーに憧れたのか、新設された青木秀夫教授の脳神経外科に入局し、CT スキャナー、

手術用顕微鏡導入による飛躍的進歩と相俟って本人も腕を磨き、北野病院やスイスのチューリッヒ州立大学でマイクロサージャリーの修業後、山口大学講師となり、昭和 60 年 4 月から済生会山口総合病院脳神経外科部長として活躍、脳動脈瘤 500 例以上、脳腫瘍 100 例あまりの開頭手術を行ったとのこと。平成 13 年からは副院長として研修指定病院の取得やクリティカルパスの導入に追われる一方、脳卒中セミナーのリーダーとして総合病院山口赤十字病院の萬納寺部長や県立中央病院の山下部長とセミナーの開催や山口大学脳神経外科同門会会長など、多忙な毎日を送っており、口髭を蓄えた英国紳士風容貌がますます似合ってきたように思われます。県医師会関係の同級生と

しては、宇部市医師会長の田中駿君や小野田市医師会長の砂田功君がいますが、彼らと協力して藤原会長を支え、山口県医師会の発展に貢献してくれることと確信しています。

最後に家族構成は、ガーデニングの参考にイギリスへ、またクラシック音楽を聴きにドイツへと、ご自身の趣味と夫君のポケ防止(?)をうまく組み合わせやりくり上手の夫人(宇部温泉病院内科)と、それを婦唱夫随が一番と達観を決めこむ夫、東京在住の弁護士の子長女、内科医と結婚した眼科医の次女(孫 2 人)、山口大学硬式テニス部の長男...。といったところです。

活躍を期待しています。

[記：山口市医師会 青山 榮]



まさき やすし
正木 康史 理事

診療情報・医療安全、労災・自賠責、産業保健、
医業経営・税制・労務、医療従事者

岩国市医師会

外科

52 歳

正木 康史先生は、昭和 26 年 7 月生まれの 52 歳という、今一番、油の乗り切った年齢の外科医であります。県立下松高校から大阪医科大学に進み、昭和 52 年同大卒業後、山口大学第二外科に入局され、消化器外科を主として研鑽され、昭和 63 年 5 月岩国市麻里布町にマサキ外科肛門科を開設され、今日に至っています。岩国地域では、ぢ疾患の専門家として地域の人から厚い信頼を得ておられ、大変ご活躍なさっておられます。

平成 12 年には、岩国市医師会理事に選任され、保険、労災、自賠責の担当理事として責任感あふれる仕事を続けてこられました。特に診療報酬改定、集団保険指導など医師会員全員に直接深く関係する業務を黙々と正確にこなされ、会員からも厚い信頼を寄せられています。また労災の岩国支部長、県の自賠責委員会委員としても務めてこられました。

一方、ゴルフでは美和ゴルフクラブのハンディキャップ 10 という腕前で、腰の回転のよくきい

た打法で、高弾道のスピンのきいたボールを打つことで有名です。ただこれから県医の理事となると、忙しくなることが予想され、ゴルフのほうがちよっと心配ではあります。また美術鑑賞、特に絵画には大変造詣が深く心豊かな人生を送っておられるようです。またご家族(奥様、お嬢様 4 人)との旅行も楽しんでおられる良き家庭人でもあります。

県理事ともなると大変多忙な生活となるわけですが、ぜひとも今までの生活のペースを乱すことなく、充実した日々を送っていただきたいと念じております。

先輩県理事が実践してこられた県医師会と岩国医師会の太いパイプをよりたくスムーズに、今後とも継続発展していただくよう期待しております。そのためには健康面にも十分留意され、重い役職をまっとうされることを願うものであります。

[記：岩国市医師会 保田 浩平]

平成 15 年度都市医師会 生涯教育担当理事協議会

と き 平成 16 年 3 月 18 日 (木)
ところ 山口県医師会館 6 階会議室

[記：理事 三浦 修]

藤井県医師会長挨拶

日医生涯教育制度は、時代とともにその内容を様変わりさせている。

その流れの中で、生涯教育制度も単位制となり他の学会専門医制度との整合性もでき、利便性ということから、都市医師会での研修も単位として認められるようになった。したがって、都市医師会と県医師会での生涯教育のあり方という面でお互いの役割分担ということが重要となってきた。日医としては昨年頃から、医療安全対策とのかわりとして、とくに日医生涯教育制度の「医療的課題」を重要視しており、これを踏まえて医師の国家資格のあり方に対応していきたいと考えている。

生涯教育のあり方について、本日まで出席の先生方が日頃考えておられるご意見をうかがい、県医師会としての方向性を決めていきたいと思う。

報告・協議事項

1. 都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会報告
すでに、都道府県医師会生涯教育担当理事連絡

協議会報告（山口県医師会報 No.1705）に報告済みであり、要点のみを記す。

(1) 平成 14 年度日医生涯教育制度申告集計結果について

平成 14 年度の申告者総数は 119,071 人であり前年より 2,582 人増加した。山口県の申告率は 72.2% であった。日医会員外も含めた平成 14 年度の終了証発行対象者数は 91,395 人であった。3 年連続終了証取得者数は 18,718 人であり、日本医師会長より認定証が交付された。

(2) 平成 15 年度日本医師会生涯教育推進委員会の活動報告

会長諮問は、「これからの生涯教育のあり方すすめ方（その 3）1. 学習方略について 2. 評価について」であり、これに対する検討を重ね、答申としてまとめた。

(3) 平成 15 年度日医生涯教育制度申告のお願い

平成 15 年度申告については、各都市医師会長

出席者

大島郡	吉岡 嘉明	宇部市	福田 信二	長門市	川上 俊文
玖珂郡	山下 秀治	山口市	名西 史夫	美祢市	野間 史仁
熊毛郡	藤田 潔	萩市	市原 隆	山口大学	坂部 武史
吉南	清水 良一	徳山	林田 重昭		
厚狭郡	谷川 秀也	防府	松崎 圭祐		
美祢郡	東 光生	岩国市	小林 元壯	県医師会	
阿武郡	藤原 弘	小野田市	今村 隆志	会長	藤井 康宏
豊浦郡	小田 正隆	光市	山本 憲男	専務理事	上田 尚紀
下関市	長岡 榮	柳井	守田 知明	理事	三浦 修

あてに「平成 15 年度日本医師会生涯教育制度申告のお願い」を送付しており、5 月 31 日までに各都市医師会から県医師会へ提出していただき、山口県としての一括申告を行う。

(4) 平成 16 年度日本医師会生涯教育制度実施要項について

カリキュラムの内容としては、「基本的医療課題」と「医学的課題」に分け、学習到達目標・指針としている。病診連携については、大学病院、地域の中核病院との協力のもとで、実技を含めたりカレント教育の推進が望まれる。また、医師臨床研修制度における日医会員の指導医としての能力向上のためのワークショップ開催を都道府県医師会単位で実施することが期待される。

生涯教育単位として、臨床実習・臨床研修の指導医（10 点）指導医のための教育ワークショップ参加（10 点）が新たに追加された。

2. 平成 16 年度山口県医師会生涯教育事業計画について

(1) 県医師会生涯研修セミナーについて

平成 16 年 5 月 9 日から平成 17 年 2 月 13 日まで 7 回の日医生涯教育講座を予定している。すでにほとんどの、講義内容、講師の選定などは検討済みである。前年度からの「生活習慣病シリーズ」と、あらたにミニレクチャーとして「役立つシリーズ」を継続予定である。

(2) その他

最近の生涯研修セミナーの出席状況は、120 ～ 240 人と低迷している。より参加しやすく、魅力ある講演内容となるよう検討を重ねていく。

3. 山口県医学会総会について

(1) 第 87 回山口県医学会総会について (下松医師会引き受け)

下松医師会の引き受けで、平成 16 年 6 月 13 日（日曜日）にスターピア下松で開催される。午前中に特別講演が 2 題、午後からは市民公開講座を予定している。あわせて、県医学会総会、県医師会総会も開催される。

(2) 第 88 回山口県医学会総会について (平成 17 年度)

宇部市医師会の引き受けで予定されている。

4. 質問及び要望事項

下関市医師会から、「新医師臨床研修制度への対応について」と題して、質問が提出された。これに対して、県医師会上田専務理事が以下のように回答した。

(1) 地域医療における指導医の養成(指導者講習会)

これについては、山口県医師会でも、平成 16 年 9 月 11 日（土）～ 12 日（日）山口県セミナーパーク（秋穂二島）で 1 泊 2 日の合宿形式によるワークショップを予定している。タスクフォースとして、橋本信也先生、桜井勇先生、福本陽平先生を予定し、対象は山口県医師会会員 25 名である。

(2) 臨床研修プログラム・臨床研修指導医の評価、研修医の評価の客観性(第三者の参加・医師会代表)

EPOC (Evaluation system of post-graduate clinical training) など、全国的に統一されたシステムを利用するのの一法であり、各医師会単位で評価システムを構築することは難しいのでは。

(3) 研修医と研修施設とのトラブル対策 (トラブルの調停)

病院の立場からは、研修医のメンタルな面を含めたケア、あるいは指導医がすべての面での相談役となりトラブルを未然に防ぐことも必要である。施設とのトラブルについては各都市医師会の相談窓口なども利用可能ではないか。

(4) 研修医の医師賠償責任保険(日医加入の促進)

日医の A2 会員となるか、個人個人で損保会社と契約するかなどの方法がある。

5. その他

郡市医師会での生涯教育制度についての取り組みや工夫、新医師臨床研修制度へかかわりなどの意見が出された。

県医師会の動き

副会長 木下 敬介

毎年 2 月から 3 月にかけての年度末は、次年度の事業計画や予算作成などのため慌ただしくなる。特に役員の任期が切れる 2 年ごとには担当の組み替えや委員の交代などもあり、慌ただしさはいっそう増すが、今年の 3 月のように会長が交代する年度末はなおさらだ。

今月の「県医師会の動き」の目玉は、何といっても会長交代にともなう執行部組み替えと役務分担に関する動きであろう。4 月 1 日には日本医師会でも会長選挙が行われることになり、こちらの動きも目が離せない。

2 月 26 日、山口県医師会第 147 回代議員会が開催。次年度の会長、副会長、理事役員が選任された。いつの頃からか山口県医師会では会長の任期は 2 期 4 年が慣例となっており、今回も例外ではなく、次年度は藤井会長から藤原新会長へ受け継がれることになった。執行部は会長、副会長、理事 6 名（うち常任理事 4 名）、監事、副議長の計 10 名が任を退き、特に理事 14 名中 8 名が入り替わる事態となった。退任される藤井会長（8.5 期 16 年 11 か月）以下、柏村副会長（5 期 10 年）、東・小田常任理事（各 4 期 8 年）、藤野・山本常任理事（各 3 期 6 年）、廣中・津田理事・末兼監事（各 2 期 4 年）及び浜田副議長（1 期 2 年）にはこれまでのご尽力とご苦労に対して、深甚なる敬意と感謝を捧げたい。3 月 18 日、15 年度最後の理事会のあと、慰労の意味を込めて送別会が開かれ、退任の先生方へ女性事務職員よりそれぞれ花束が贈呈された。

新理事の 8 名は、その年齢が 49 歳から 58 歳（平均 53.5 歳）と若い。新執行部は会長・副会長こそ 60 歳から 62 歳だが、専務理事以下は 48 歳を筆頭に 40 歳代と 50 歳代となっており、全

体の平均年齢は 54.4 歳。47 都道府県医師会の中でも、若さという点では上位にランクされる。役務分担については新会長の原案をたたき台に最初は新三役で協議し、次いで新常任理事を交えて検討を重ねた。3 月 25 日には新理事 8 名を含めた新執行部の打合せ会が行われ、あわせて新理事に対して会務、行政との会議、医政活動等に関するオリエンテーションが試みられた。「試みられた」というのは、これまでこのような形でのオリエンテーションはほとんどなかったからだ。「先輩理事の背中をみて学びとれ」式のオリエンテーションなしがよいか、今回のように役務の説明や申し送り等の打合せがあった方がよいかの議論はさておいて、県医師会理事としての仕事の内容や担当の役務等については、ある程度知っていた方が効率的ではある。3 月 15 日発行の「都医ニュース」の中にも、「医師会の理事としての仕事の内容が分からなさすぎる」とある医師会の新理事の不満が載せられていた。

若い新理事 8 名の自己紹介を聞くと、いずれも個性的で頼もしく多士済々といった感じがした。彼らは速やかに進化して、有能な理事が退任して抜けた分を必ず補ってくれるにちがいない。

一方、日医会長選挙に対して最初は 4 人の立候補があり、1 月 25 日には岡山においてそれぞれ 4 人の政策演説を聞いた。それが 3 月 20 日すぎの土壇場になって、まず宮崎候補が立候補を取りやめて桜井候補の副会長になるとのこと。そして 2、3 日もしないうちに桜井候補も立候補を取りやめ、2 人して植松候補の副会長になることで合意という大きな動きになる。最終段階に入って、坪井会長路線を踏襲し是正すべき点は是正するという青柳候補と、反坪井会長路線の植松候補、つまり 3 候補連合との一騎打ちという形ができあ

がってきた。

4 月 1 日の選挙結果は植松候補 211 票に対して、青柳候補 127 票と 84 票差で植松新会長が選任。その日の日経新聞の夕刊には「坪井氏が医療費抑制を進める小泉純一郎首相との対話を重視してきたのに対し、植松氏は反坪井路線を掲げてきた。自民党の有力支持団体の日医と小泉政権との距離が開く可能性があり、今後の参院選や医療制度改革に影響が出そうだ」と報じられた。

さて、冒頭の次年度の事業計画と予算作成の話にもどそう。担当の常任理事と事務局とで検討しながら作られた次年度の事業計画及び予算案が、3 月 4 日の理事会において協議され承認。多少の修正・調整が加えられて 4 月 22 日の第 148 回代議員会に上程されることとなった。事業計画については、平成 16 年度は特段の新規事業もなければ全国会議等の引き受けもない。予算（案）については、対前年度比 106.6%だが、収入のうち会員の医業収入減少の影響と思われる会費収入減が目立つ。理事役員退職にともなう支出も大きい。これを埋め合わせるため特定預金取り崩し収入が大幅増加。支出のうち事業費については対前年度比 100%を維持。しかしながら、これからは事業の見直しやメリハリをつけていく努力が必要となる。

3 月 3 日、次期会長・副会長及び保険担当と社会保険事務局との間で、保険指導医の資格について確認。平成 14 年 4 月の厚労省医療課長通達「保険指導医等設置要綱」に則って、医師会の現職の役員は保険指導医からはずすというもの。このことについては、平成 16 年度保険指導打合せ会議の折りにもう少し詳しく述べてみたい。

3 月 4 日、平成 15 年度最後の会報編集委員会では、掲載予定主要記事のほか、第 5 回二次医療圏座談会（萩・長門地区で 6 月 1 日に予定）広告掲示等について協議。山口県医師会報に載せられた「国民負担増は限界、公費負担増を」（矢野秀先生）と「診療報酬改定に向けて」（加藤欣士郎先生）の記事が「東京都医師会雑誌 2 月号」に転載されることが報告された。また、医師連盟だよりとしてミニレターが県医師会報へ随時綴じ込まれることになった。

この日、日医では都道府県医師会社会保険担当

理事協議会が開催され、山本常任理事、佐々木・西村理事が出席。4 月 1 日からの診療報酬改定の説明を受けて、3 月 11 日の都市医師会保険担当理事協議会において伝達された。今回はゼロ改定だが、医療技術の適正評価、医療機関のコスト等の適切な反映、患者視点の重視、不合理事項の見直し等の観点から、ゼロ改定内での調整があった。そのため科によっては多少の影響が生じるかもしれないが、今後の検証に注目したい。ゼロ改定に対する評価は分かれる。が、昨年 12 月 17 日から 18 日にかけての中央の動き、特に 18 日 15 時 30 分からの小泉首相と青木参議院幹事長とのやりとり（読売新聞、医事新報、文藝春秋等参照）により首相の主張したマイナス改定だけはまぬがれた点では、日医の働きは評価されるべき。青柳副会長や西島常任理事の生々しい話をきいても、医政活動の重要性が伝わってくる。

3 月 7 日の日曜日、県民公開講座として徳山医師会のお世話により、周南市文化会館において「ジョン Q」上映会が催された。2 月 8 日の宇部市医師会による上映会に次いで行われたもの。米国の医療保険のひずみを指摘した内容の映画で、これを見ると日本の国民皆保険制度がいかに優れたものであるかが分かる。医師会が国民皆保険制度の堅持を分かりにくい表現で訴えるよりは、この映画を見てもらった方が一般住民の理解を得やすいし手っとりばやい。宇部市でも周南市でも、上映に加えて小川直人読売新聞編集委員による米国と日本の医療保険制度についての解説があった。周南市では 2 月 29 日読売新聞掲載の小川氏による「ヒラリー自伝を読む」のコピーが資料として添えられた。日本の医療制度は、WHO がセーフティネットとしては「世界一」の折り紙をつけている。ヒラリー・クリントン（前米国大統領夫人）が米国にも日本のような国民皆保険制度を作ろうと相当の努力をしたが「その思想は社会主義や共産主義につながる」と反発した全米商工会議所や保険・製薬業界からの反対で潰されたそう。日本でも規制緩和の名のもとに皆保険制度を潰そうとしているのは経済界、とりわけ保険業界ではないのか。

医師や医師会が皆保険制度堅持や規制緩和反対を主張すればするほど「我が田に水を引く」よう

に受け取られかねないが、医療関係者以外やマスメディアからこのような声をきくと、一般住民も頷きやすいにちがいない。その点では県民公開講座における「ジョン Q」上映会は大いに評価されるべきで、もっと多くの一般住民に見てもらいたい気がする。

3 月は行政関係の会議も多い。日医での会議、県医での理事会や委員会、郡市医師会との会議等を加えると、ざっと数えても 40 を超える。重要なものについては会報に掲載されるが、会報に載らないものもあり、この「県医師会の動き」欄では、載らないけれども重要なものをなるべく取り上げて解説を加えてみたい。

日医会長選挙のあと、午後少し時間があつたので、山口県医師会の新三役と新代議員の 5 名は新任挨拶を兼ねて地元国会議員を表敬訪問した。丁度、国会開会中で年金問題が審議されていた。その合間をぬってつかの間ではあつたが、安倍幹事長と河村文部科学大臣にお会いすることができた。お 2 人とも、すでに日医会長選挙の結果についてご存じだった。永田町からホテルまでの道すがら、イギリス大使館前と皇居お堀沿いの桜が見事に咲いていた。その満開の桜の花を眺めながら、日本医師会はこれから舵をどう切っていくのか、ふとそんな思いが頭の中をよぎった。

さまざまの 事おもひだす 桜かな 芭蕉

日医 FAX ニュース

2004 年（平成 16 年）4 月 9 日 1442 号

医療保険は櫻井・松原両氏
チーム制導入で会務運営の透明化図る

2004 年（平成 16 年）4 月 6 日 1441 号

社会保障の理念と国民皆保険を基本方針の柱に
ゼロ税率課税改め軽減税率柱に
委員会の再編統合を検討、答申のあり方も見直し
直接選挙も視野に段階的に改革
ORCA 事業の適正さを検証へ

2004 年（平成 16 年）4 月 2 日 1440 号

日医新会長に植松治雄・前大阪府医会長
櫻井氏ら植松陣営の 3 人が当選

新自動車総合保険・住宅総合保険・店舗総合保険・家庭総合保険・積立火災総合保険・タテ
コー保険・積立ファミリー交通傷害保険・積立家族傷害保険・交通事故傷害保険・医師賠償
保険・所得補償保険・国内旅行傷害保険・ゴルフ保険・ハンター保険・つり保険など

あなたにしあわせをつなぐ

株式会社損害保険ジャパン 代理店
共栄火災海上保険株式会社 代理店

山福株式会社

TEL 083-922-2551

会員の動き

- 平成 16 年 3 月受付分 -

入 会

郡市	県	日	氏名	診療科目	医療機関名
吉南	2 八	A2	有好 香子	内	(医) 社団向陽会阿知須同仁病院
吉南	2 八	-	宮崎 浩美	放	(医) 協愛会阿知須共立病院
下関市	1	A1	中田 和男	整	なかた整形外科クリニック
下関市	1	A1	原 良英	神内(神)・精・心内	はら医院
宇部市	2 八	-	鈴木 克佳	眼	興産(株)中央病院
山口市	2 八	-	小笠原 啓子	内	(医) 和同会山口リハビリテーション病院
岩国市	2 八	-	寺師 貴啓	外	(医) 錦病院
岩国市	1	A1	三井 清次郎	眼	みい眼科
柳井	2 八	B	中村 松美	内・消内	国立療養所柳井病院
柳井	2 八	-	丹治 英裕		国立療養所柳井病院
山口大学	3	-	田中 邦剛	耳鼻咽	耳鼻咽喉科学

退 会

郡市	氏名	備考
吉南	関谷 智雄	(医) 社団向陽会阿知須同仁病院 より
吉南	三浦 公子	(医) 協愛会阿知須共立病院 より
美祢郡	井上 裕文	共立美東国保病院 より
豊浦郡	永島 浩	豊北町国民健康保険角島診療所 より
下関市	古賀 章生	(医) 社団青寿会武久病院 より
徳山	北川 マミ	本城クリニック より
徳山	磯村 徳	
防府	藤村 智之	(医) 医誠会都志見病院 より
岩国市	平田 祐造	(医) 錦病院 より
岩国市	上坂 好一	国立岩国病院 より
柳井	高石 雅敏	国立療養所柳井病院 より
柳井	津田 雅敏	国立療養所柳井病院 より
柳井	池田 政宣	(医) 恵愛会柳井病院 より

柳井	山木 実	国立療養所柳井病院 より
山口大学	伊住 浩史	小児科学 より
山口大学	佐々木 敦子	小児科学 より

異 動

郡市	氏名	異動事項	備考
下関市	坂 康雄	勤務先	総合病院下関市立中央病院【下関厚生病院 より】
宇部市	伊達 敏明	勤務先	(医)博愛会宇部記念病院【(医)聖比留会セントヒル病院 より】
宇部市	菅 智史	新規開業	〒759-0203 宇部市大字中野開作 433-3 すがメンタルクリニック (心内・神・精) TEL(0836-45-2233) FAX(0836-45-2345)【小野田心和園より】
宇部市	松木 清	勤務先	(医)協愛会阿知須共立病院【(医)太白会シサイト病院 より】
徳山	伊藤 孝	勤務先	たかはしクリニック【老人保健施設ひまわり苑 より】
光市	冬野 幾久男	勤務先	町立大和総合病院【総合病院光市立病院 より】
柳井	瀧田 敬史	勤務先	厚生連周東総合病院【浜田内科胃腸科 より】
山口大学	末永 尚子	勤務先	山口大学【山口県済生会下関総合病院 より】
山口大学	前川 亮	勤務先	山口県済生会下関総合病院【山口大学 より】
山口大学	梶本 まどか	勤務先	山口県済生会下関総合病院【山口大学 より】
山口大学	福田 謙	勤務先	山口県済生会下関総合病院【山口大学 より】
山口大学	百中 宏	勤務先	厚生連小郡第一総合病院【山口県立中央病院 より】
山口大学	水谷 誠	勤務先	総合病院社会保険徳山中央病院【山口大学 より】
山口大学	高橋 一雅	勤務先	山口県立中央病院【山口大学 より】

謹 弔

水田 実 氏 宇部市医師会
3月28日、逝去されました。享年81歳。
つつしんで哀悼の意を表します。

謹 弔

中村 史郎 氏 下関市医師会
3月29日、逝去されました。享年72歳。
つつしんで哀悼の意を表します。

謹 弔

伊東 裕 氏 熊毛郡医師会
3月31日、逝去されました。享年75歳。
つつしんで哀悼の意を表します。

謹 弔

河崎 可昭 氏 下関市医師会
3月31日、逝去されました。享年61歳。
つつしんで哀悼の意を表します。

謹 弔

辻岡 嗣郎 氏 宇部市医師会
4月2日、逝去されました。享年75歳。
つつしんで哀悼の意を表します。

謹 弔

中島 全 氏 豊浦郡医師会
4月3日、逝去されました。享年88歳。
つつしんで哀悼の意を表します。

お知らせ・ご案内

日医認定健康スポーツ医制度における 健康スポーツ医学講習会・再研修会

講習会

東京都医師会

開催日時：《前期》5月15日(土)13:00～18:50
5月16日(日)9:30～18:20
《後期》7月10日(土)13:00～18:55
7月11日(日)10:00～17:10

受講資格：席に余裕がある場合は東京都医師会員以外の受講が可能

単位数：5月15日・16日の2日間で前期(11単位)
7月10日・11日の2日間で後期(10単位)

再研修会

山口県スポーツ医科学研究会・山口県医師会

開催日時：6月3日(木)19:00～20:30

受講資格：日医認定健康スポーツ医他

演題：1 温熱療法とスポーツ医学

〔鹿児島大学大学院教授 鄭忠 和〕

単位数：1単位

松山市医師会

開催日時：5月8日(土)15:00～19:00

受講資格：日医認定健康スポーツ医他

演題：1 救急蘇生法

〔愛媛県立中央病院救命部長 浜見 原〕

単位数：2単位

長崎スポーツ医科学研究会(長崎県)

開催日時：6月16日(水)19:00～21:00

受講資格：日医認定健康スポーツ医他

演題：1 投球フォームのチェックと投球障害に対するアプローチ

〔神戸大学医学部保健学科臨床助教授 立花 孝〕

2 肩のスポーツ障害

〔信原病院院長 信原克哉〕

単位数：1単位

肩をカタる会(大分県)

開催日時：6月10日(木)19:00～20:30

受講資格：日医認定健康スポーツ医他

演題：1 関節鏡は肩スポーツ障害の病態解明と治療学に革命をもたらしたか!?

〔大阪厚生年金病院スポーツ医学科部長 米田 稔〕

単位数：1単位

注1)講習会(前期・後期)の受講により日医認定健康スポーツ医の認定申請ができます。

注2)再研修会の受講により認定更新のための単位が取得できます。

注3)再研修会については中四国・九州地区において開催されるものを掲載しています。

”あなたの
あしたに”

さい きょう
SAIKYO 西京銀行

日本医師会認定産業医制度指定研修会

注：() 内の数字は単位数

大森医師会 (東京都) TEL:03-3772-2402

基礎・実地 (3) 5/13 (木)

生涯・実地 (3) 5/13 (木)

西多摩医師会 (東京都) TEL:03-3358-5360

基礎・実地 (3) 7/24 (土)

基礎・後期 (2) 7/24 (土)

生涯・更新 (1) 7/24 (土)

生涯・実地 (3) 7/24 (土)

生涯・専門 (1) 7/24 (土)

三鷹市医師会 (東京都) TEL:0422-47-2155

基礎・実地 (1) 7/7 (水)

基礎・後期 (1) 7/7 (水)

生涯・実地 (1) 7/7 (水)

生涯・専門 (1) 7/7 (水)

慈恵医師会 (東京都) TEL:03-3350-0363

基礎・実地 (1) 7/17 (土)

基礎・後期 (4) 7/17 (土)

生涯・更新 (1) 7/17 (土)

生涯・実地 (1) 7/17 (土)

生涯・専門 (3) 7/17 (土)

日本産業衛生学会 (東京都) TEL:0422-47-5512

基礎・後期 (4) 5/22 (土)

生涯・更新 (1) 5/22 (土)

生涯・専門 (3) 5/22 (土)

関東産業健康管理研究会 (東京都)

TEL:03-3358-4001

生涯・専門 (2) 5/26 (水)

海外渡航者の健康を考える会 (東京都)

TEL:03-3961-7946

生涯・専門 (2) 7/10 (土)

愛知県医師会 TEL:052-241-4136

基礎・前期 (7) 5/9 (日)

基礎・実地 (各 2) 5/18 (火) 6/22 (火)

基礎・後期 (2) 6/2 (水)

生涯・実地 (各 2) 5/18 (火) 6/22 (火)

生涯・専門 (2) 6/2 (水)

三重県医師会 TEL:059-228-3822

基礎・前期 (各 7) H17.3/6 (日) H17.4/10 (日)

基礎・実地 (4) 11/18 (木)

基礎・後期 (各 4) 6/17 (木) 8/5 (木)

9/16 (木) H17.1/9 (日)

生涯・実地 (4) 11/18 (木)

生涯・専門 (各 4) 6/17 (木) 8/5 (木)

9/16 (木) H17.1/9 (日)

滋賀県医師会 TEL:077-524-1273

基礎・実地 (各 2) 5/12 (水) 6/15 (火)

生涯・実地 (各 2) 5/12 (水) 6/15 (火)

京都府医師会 TEL:075-212-2600

基礎・実地 (2.5) 5/20 (木)

基礎・後期 (各 2) 5/12 (水) 6/24 (木)

生涯・更新 (2) 5/12 (水)

生涯・実地 (2.5) 5/20 (木)

生涯・専門 (2) 6/24 (木)

日本産業衛生学会 (大阪府) TEL:06-6763-7002

基礎・後期 (3) 6/19 (土)

生涯・専門 (3) 6/19 (土)

和歌山県医師会 TEL:073-421-8990

基礎・実地 (1.5) 5/20 (木)

基礎・後期 (1) 5/20 (木)

生涯・実地 (1.5) 5/20 (木)

生涯・専門 (1) 5/20 (木)

和歌山市医師会 TEL:073-435-5199

基礎・後期 (2) 6/5 (土)

生涯・専門 (2) 6/5 (土)

広島県医師会 TEL:082-224-1361

基礎・実地 (1.5) 5/13 (木)

基礎・後期 (1.5) 5/13 (木)
生涯・更新 (1.5) 5/13 (木)
生涯・実地 (1.5) 5/13 (木)

府中地区医師会 (広島県) TEL:0847-45-3505

基礎・後期 (2) 5/20 (木)
生涯・専門 (2) 5/20 (木)

たばこと健康広島フォーラム (広島県)

TEL:082-221-5463

生涯・専門 (2) 5/29 (土)

山口県医師会 TEL:083-922-2510

基礎・後期 (1) 5/9 (日)
生涯・専門 (1) 5/9 (日)

徳島県医師会 TEL:088-622-0264

基礎・後期 (各 2) 5/13 (木) 5/27 (木)
6/10 (木) 6/24 (木)
生涯・専門 (各 2) 5/13 (木) 5/27 (木)
6/10 (木) 6/24 (木)

香川県医師会 TEL:087-861-2307

基礎・前期 (各 2) 5/14 (金) 7/9 (金) 7/22 (木)
基礎・実地 (各 2) 5/27 (木) 6/11 (金)
基礎・後期 (2) 6/24 (木)
生涯・更新 (2) 6/24 (木)
生涯・実地 (各 2) 5/27 (木) 6/11 (金)

愛媛県医師会 TEL:089-943-7582

基礎・前期 (各 7) 5/4 (火) 5/5 (水)
基礎・実地 (4) 5/8 (土)
生涯・実地 (4) 5/8 (土)

高知県医師会 TEL:088-824-8366

基礎・後期 (2) 5/27 (木)
生涯・専門 (2) 5/27 (木)

産業医科大学 (福岡県) TEL:093-603-1611

基礎・前期 (6 日間で 14) 8/2 (月) ~ 7 (土)
基礎・実地 (6 日間で 10) 8/2 (月) ~ 7 (土)
基礎・後期 (6 日間で 26) 8/2 (月) ~ 7 (土)

日本心身医学会 (福岡県) TEL:093-691-7475

生涯・専門 (各 2) 6/3 (木) 6/5 (土)

大分県医師会 TEL:097-573-8070

基礎・後期 (各 2) 5/7 (金) 5/27 (木)
生涯・専門 (各 2) 5/7 (金) 5/27 (木)

宮崎県医師会 TEL:0985-22-5118

基礎・前期 (3) 9/11 (土)
基礎・前期 (4) 7/24 (土)
基礎・実地 (各 2) 6/26 (土) 8/28 (土)
基礎・後期 (2) 10/21 (木)
生涯・実地 (各 2) 6/26 (土) 8/28 (土)
生涯・専門 (2) 10/21 (木)
基礎・実地 (各 2) 5/13 (木) 5/20 (木)
6/10 (木) 7/8 (木) 8/19 (木) 9/9 (木)
10/14 (木) 11/11 (木) 12/9 (木)
H17.1/13 (木) H17.2/10 (木)
基礎・後期 (各 2) 5/27 (木) 6/18 (金)
7/12 (月) 7/15 (木) 8/9 (月) 8/26 (木)
9/13 (月) H17.2/14 (月)

基礎・後期 (3.5) 5/15 (土)
生涯・更新 (1) 6/18 (金)
生涯・実地 (各 2) 5/13 (木) 5/20 (木)
6/10 (木) 7/8 (木) 8/19 (木) 9/9 (木)
10/14 (木) 11/11 (木) 12/9 (木)
H17.1/13 (木) H17.2/10 (木)
生涯・専門 (1) 6/18 (金)
生涯・専門 (各 2) 5/27 (木) 7/12 (月)
7/15 (木) 8/9 (月) 8/26 (木)
9/13 (月) H17.2/14 (月)
生涯・専門 (3.5) 5/15 (土)

鹿児島県医師会 TEL:099-254-8121

基礎・実地 (2) 5/20 (木)
基礎・後期 (各 2) 5/7 (金) 5/18 (火)
生涯・実地 (2) 5/20 (木)
生涯・専門 (各 2) 5/7 (金) 5/18 (火)

注 1) 詳細、受講申込についてのお問い合わせは主催の医師会等にご連絡ください。

注 2) 実地研修については開催地域の受講者に限定している場合がありますので、お申込みの際にはご注意ください。

お知らせ・ご案内

第 87 回山口県医師会生涯研修セミナー
平成 16 年度第 1 回日本医師会生涯教育講座
山口県医師会産業医研修会
山口県特定疾患専門医師研修会

と き 平成 16 年 5 月 9 日 (日) 10:00 ~ 15:00
 ところ 山口県総合保健会館 2 階多目的ホール
 申込先 所属都市医師会

○開会 10:00
 ○特別講演 10:00 ~ 11:00
 生活習慣病シリーズ 6 : 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)
 地域医療連携による診断と治療
 日本医科大学第 4 内科教授・日本医科大学呼吸ケアクリニック所長 木田 厚瑞

○特別講演 11:00 ~ 12:00
 膠原病の最新治療
 横浜市立大学大学院医学研究科病態免疫制御内科学教授 石ヶ坪良明


昼食・休憩 12:00 ~ 13:00
 ミニレクチャー 13:00 ~ 13:30
 役立つシリーズ 1 アトピー性皮膚炎と生活環境
 山口大学医学部分子感知医科学講座 (皮膚科学) 教授 武藤 正彦

ミニレクチャー 13:30 ~ 14:00
 役立つシリーズ 2 尿検査一般について
 済生会下関総合病院副院長・腎臓内科 大藪 靖彦

○特別講演 14:00 ~ 15:00
 女性の Aging と Health Care
 東京医科歯科大学大学院生殖機能協関係学教授 麻生 武志

閉会 15:00

取得単位 : 日医生涯教育制度 5 単位 (全日)
 日本内科学会認定内科専門医の更新 2 単位 (全日)
 日医認定産業医 基礎・後期または生涯・専門 1 単位 (特別講演 のみ)




セフゾン® 細粒小児用
カプセル 100mg / 50mg

CFDN (略号:CFDN)

経口用セフェム系製剤

薬価基準収載

＜セフジニルカプセル,セフジニル散＞ 指定医薬品・要指示医薬品^注
注) 注意-医師等の処方せん・指示により使用すること



発売元 資料請求先
藤沢薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町3-4-7 〒541-8514

製造元
富山フジサワ株式会社
富山市興人町2番178号

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等につきましては、製品添付文書をご参照下さい。

作成年月2003年11月

お知らせ・ご案内

春期ドクターズテニス大会

と き 平成 16 年 5 月 9 日 (日) 午前 9 時 30 分
 ところ 山口市 サングリーンテニスクラブ TEL:083-927-3608
 [懇親会：ホテルニュータナカ TEL:083-923-1313]
 会 費 8,000 円
 ダブルス、雨天決行
 連絡先 本永泌尿器科医院 本永 逸哉
 TEL:083-925-8088 FAX:083-928-1560

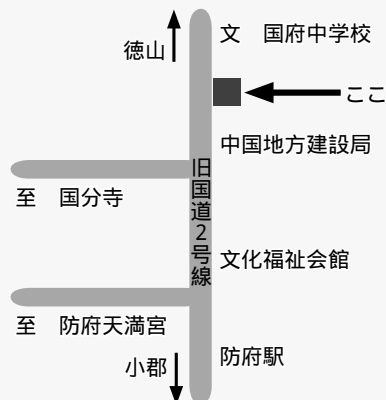
第 234 回木曜会 (周南地区・東洋医学を学ぶ会)

と き 平成 16 年 5 月 13 日 (木) 午後 7 時 ~ 9 時
 ところ ホテルサンルート徳山 別館 1F「飛鳥の間」
 テーマ 弁証論治トレーニング〔第 32 回〕 - 男性不妊症 -
 年会費 1,000 円
 漢方に興味おありの方、歓迎致します。お気軽にどうぞ。

代表世話人・解説 磯村 達
 周南病院院長 TEL:0834-21-0357

医療施設の貸与または売却

住所 防府市国衛 5 丁目 11-4 うたむら耳鼻科医院
 建物 鉄筋コンクリート 2 階建
 土地面積 534.07 m²
 建物 1 階 185.52 m² (病室 4 部屋)
 2 階 175.52 m²
 P.H 16.47 m²
 合計 377.51 m²
 お問い合わせ先 TEL:0835-22-0565 防府医師会事務局



医療施設の賃貸契約

住所 熊毛郡平生町佐賀 2289-1 (旧 伊東医院)
 土地面積 1597.12 m²
 病院 鉄骨造 307.98 m²
 住宅 木造 2 階建 164.11 m²
 駐車場 7 台以上 他にスタッフ用 7 台
 自宅用 2 台 (屋根付)
 何科でも可。内科・外科・整形外科等に最適。
 建物の状態良好。医療機器はそのままなので、すぐに診療が可能です。
 お問い合わせ先 TEL:090-7505-4943 伊東

受贈図書・資料等一覧		(平成 16 年 3 月)
名称	寄贈者、筆者	受付日
社団法人山形県医師会史	山形県医師会	3・22

編集後記

4 月 1 日と 2 日に開催された日医代議員会に出席してきました。4 月 1 日の役員選挙で、日医会長に植松治雄先生（前大阪府医師会会長）が選出されました。会長選挙には植松先生、青柳俊先生（前日本医師会副会長）ら 3 名が立候補していました。

植松先生は、坪井栄孝前会長が最初に日医会長に立候補した時に、強力に支援した方ですが、2 年前の診療報酬改定（マイナス改訂）の頃から坪井執行部に対して反対の立場を表明され、前回の会長選挙では西候補を支援されました。一方青柳先生は、坪井執行部の副会長という立場もあり、坪井路線継承の立場を訴えていました。

結果的には、ここ数年の坪井路線に対する不満が表出したものとなりました。自民党の小泉体制に対しても、今まで以上に強い態度で望むことになると思われます。日医会長選挙の結果は毎日、読売、朝日、日経新聞等の全国紙でも大きく取り上げられました。青柳先生が選出されていたとしたら、おそらく、今回のように大きくは取り上げられなかったでしょう。それだけ一般社会での衝撃も大きかったということだと思います。

日本医師会館のロビーには、北里柴三郎の銅像やヒポクラテスと北岡多一の胸像と並んで、坪井前会長の胸像が飾られています。あくまでも噂ですが、坪井記念館を建てようという計画もあったようです。私は個人的には、坪井前会長は最近の日医会長の中では、ずば抜けた存在であったと考えています。しかしこの胸像を見て、正直がっかりしました。今回の選挙結果をこの胸像はどのように眺めているのでしょうか。

坪井執行部から副会長・常任理事として再任されたのは、櫻井秀也副会長、西島英利・雪下國雄常任理事の 3 人だけで、大幅な入れ替えとなりました。県医師会の役員も、常任理事以上は藤井執行部からの残留ですが、監事、議長を除くと、役割としてはすべて新任ということになります。大丈夫かなという不安もあるかとは思いますが、役員一同、新人として、フレッシュな意気込みでがんばろうと思っています。ご支援よろしくお願ひします。

(吉本)

From Editor

やまぎんスーパー変動金利定期預金〈投信セット〉


株式投資信託のご購入と同時に預け入れされると、預入日から

6か月間の上乗せ利率が 年 1%

- ・スーパー変動金利定期預金の預入金額・・・30万円以上
- ・株式投資信託の購入金額・・・・・・・・スーパー変動金利定期預金の預入額以上

中途解約された場合、当行所定の中途解約利率を適用します。詳しくは店頭の説明書をご覧ください。

あなたのドリームサポーター



平成14年4月1日現在